Informatica 9.6

いつでも、どこでも—グレートデータ（高品質な価値あるデータ）のための設計

ボーイング 787 ドリームライナーのエンジンは、大西洋を横断する一般的な飛行毎に、1 TB を超えるデータを収集します。Fitbit 等のウェアラブルデバイスは、人の動きや睡眠パターンを追跡して、データを常に収集します。また Google や他の企業は、地理データや現在速度、付近の他の車両の認識をして自動運転する車を開発しています。これが日々、目にしているデータを中心とした世界です。

このデータ中心の世界には、人、ビジネス、アプリケーション、マシン間の豊かで安定的な相互作用があります。これらの情報から引き出せるビジネスの可能性は無限です。ビジネスプロセスと業務の改善、カスタマーエクスペリエンスの向上、新製品やサービスの創造、そして、より良い世界への変革が可能になります。

データに関する3つの黄金律

企業の経営幹部はデータが豊富に存在していても、そのデータの可用性と品質が欠如していることで、成功を妨げられていると指摘しています[1]。データの真の可能性を引き出すためには、新しい標準にデータの有用性に関する定義を含めるという変更を加える必要があります。

Informaticaは、卓越したデータ統合ソリューションのスイートを提供し、データに関する3つの黄金律に則ったグレートデータ（高品質な価値あるデータ）を、どんなスケールでも配信することができます。データに関する3つの黄金律とは、データが **高品質**かつ**安全**で、**密接に連携されている** 事を指します。これに準拠するためには、データがキャプチャーされる際にクレンジングされるように、全体的なシステムを視野に入れて設計する必要があります。またデータアクセスは、エンドユーザーがセルフサービスを使うことで、セキュリティを侵害しないように、役割とプロファイルを使って保護する必要があります。また、データインフラストラクチャーは、アプリケーション間で常にデータを収集、集約、共有することで、スマートな機能やビジネスプロセスを構築できなければなりません。

[1]Gartner July 2011:CFO Advisory:Poor Data Quality Interferes With Strategy Execution.

開発環境の強化で従来の5倍の速度でデータを提供

Informatica® 9.6 は、データ統合プラットフォームの水準を引き上げ、高品質かつ安全で、密接に連携されたデータを、従来のアプローチよりも 5 倍の速度で開発、および提供することができるようになります。そして、その標準的な機能を、以下のように再定義します：

- アジャイルなデータ統合：Informatica 9.6 は、アジャイルな統合開発環境を提供することで、従来の開発よりも5倍の速度で柔軟な導入作業が可能になります。
- ホリスティック（全体的な）データ管理：Informatica 9.6 は、データを統合管理し、そのライフサイクル全体にわたって、品質と信頼性を確保します。
- ハイブリッドデータ統合：Informatica 9.6 は、クラウド、オンプレミス、ハイブリッド等の IT 環境において、取引データからビッグデータ、部門レベルから全社レベルに至るまで、再コーディングしなくても拡張することができます。

開発を最速化する：アジャイルなデータ統合

速いビジネススピードで、迅速に価値を実現するためには、アジャイルなデータ統合が必要です。Informatica 9.6 は、IT部門と業務部門のコラボレーションを強化し、両者が共同開発できる俊敏な統合開発環境を提供するというユニークな方法を採用しています。その結果、データ統合プロジェクトの開発、導入期間は、これまでになく迅速になるとともに、業務ニーズを満たす信頼性も高まります。

アジャイルな開発を支えるための Informatica 9.6 の機能の中には、エンドツーエンドなアジャイル開発フレームワーク、役割ベースのツールによる高速プロトタイピング、データプロファイリング、データ検証テスト、PowerCenter® 導入のプロアクティブモニタリング等が含まれます。

データの信頼性を向上させる：ホリスティクなデータ管理

ガートナー社の調査によれば、「企業が目標とする利益を達成できないビジネスイニシアチブの 40% は、低品質なデータが主な原因となっています」[2]。Informatica 9.6 は、データ品質のリーダーであるInformaticaの実績の上に、さらに新たなビジネス指向の機能として、ポリシーや手順の設定、例外処理といった機能を追加しています。

ホリスティックデータ管理に特化した新機能としては、新しいディスカバリ検索機能に簡単にアクセスできる Holistic Data Stewardship Console、アナリスト向けのエンタープライズディスカバリと、ルールビルダー、ビジネスグロッサリ、ビジネスユーザー向けのセルフサービスビデオ、拡張レポートスキーマ、拡張テンプレート等が含まれます。

投資効果を保証する：ハイブリッドデータ統合

今日の急速な技術革新のスピードにおいては、既存のデータ統合資産を維持しつつ、新しいプラットフォームとテクノロジーを採用する柔軟性が要求されます。クラウドまたはオンプレミスで実装可能な Informatica 9.6 は、世界初かつ唯一の組み込み可能な仮想データマシン (VDM) であるInformatica Vibe™ を搭載しています。「一度マッピングすれば、あらゆる場所に実装可能 (Map Once.Deploy Anywhere.™)」になるというVibeのユニークな機能を使えば、既存のデータ統合を再コーディングすることなく、次々と進化するIT技術を取り入れることができます。例えば、Informatica 9.6 をオンプレミスで部門レベルに展開し、それをいつでも、新しくコーディングしなくても、クラウドに移行あるいは全社に展開したり、Hadoop 環境に拡張することができます。

[2]Gartner:Measuring the Business Value of Data Quality.10 October 2011.

ハイブリッドデータ統合の新機能の中には、Cloud Data Quality Services、Cloud Enterprise Data Quality、Cloud Test Data Management、Cloud Master Data Management (MDM)、Informatica Cloud Extend® アップデートなどのクラウド指向の機能に加え、Oracle EBS Connector や SAP Connector アップデート等が含まれます。

ビジネス価値を拡張する：データ統合エコシステム

Informatica 9.6 は、新しいツールキットやトライアル版を用意することによって、お客様に価値をもたらすInformaticaのデータ統合エコシステムの輪を広げようとしています。これには Informatica Vibe Starter Kit や新しい Connector Toolkit が含まれていますので、Eclipse ベースの仕組みやコンフィギュレーションを用いたカスタムコネクターの開発を大幅に簡素化することができます。また、生成したコネクターを、Informatica Marketplace に簡単に公開し、共有することができます。さらに、Informatica 9.6 にはビッグデータの処理や分析を検討中のお客様向けに、新しい PowerCenter Big Data Edition トライアル版を用意しています。

Informatica 9.6 プラットフォーム：企業の成熟とともに拡張

9.6 release があれば、ひとつの部門のみで使用するような単純なプロジェクトから、複雑かつICCで統制するような複数プロジェクトの導入まで、あるいは部門レベルから全社レベルの導入、さらにその先に至るまで、企業の今の成熟度に合わせて、Informatica のデータ統合やデータ品質をよりコスト効果的に、活用することができます。

基本となる 2 つのエディションは Informatica PowerCenter Standard Edition と Informatica Data Quality Standard Edition で、前者は敏捷なデータ統合プロジェクト、後者はデータ品質プロジェクト向けの基本機能を提供します。それぞれの拡張エディションとして、Informatica PowerCenter Advanced Edition および Informatica Data Quality Advanced Edition では、エンタープライズレベルの敏捷なデータ統合とデータ品質機能を提供します。

また、新しいプラットフォームは、2 つのプレミアムエディションを用意しています。Informatica PowerCenter Premium Edition は ICC 向けの敏捷なデータ統合を提供し、Informatica Data Quality Premium Edition はエンタープライズレベルのガバナンスのためのデータ品質を提供します。

詳細

Vibe Starter Kit の詳細については、以下をご覧下さい。
www.informatica.com/vibestarterkit.

Informatica 9.6 の詳細については、www.informatica.com/jp/data_integration_new、www.informatica.com/jp/data_quality_new をご覧下さい。

Informatica の Vibe 仮想データマシンについて

業界初にして唯一の埋込み型仮想データマシン（VDM）である Informatica Vibe は、「一度マッピングすれば、どこにでも展開」できることで、データインフラストラクチャーを簡素化し、テクノロジーの変化に追随することを可能にし、組織にアドバンテージをもたらします。その一例として、Informatica を使用して開発された従来のハードウェア上で稼動するほぼすべてのデータ統合ジョブは、追加作業なしに、Hadoop クラスタ上でネイティブに実行することができます。

インフォマティカ社について

Informatica Corporation (NASDAQ:INFA)はデータインテグレーションソフトウェアおよびサービスにおける世界No.1独立系プロバイダーの1社です。インフォマティカのソリューションによって、世界中の企業が情報価値を高めることに成功し、ビジネスの最重要ニーズを満たしています。業界初にして唯一の埋込み型仮想データマシン（VDM）であるInformatica Vibeは、「一度マッピングすれば、どこでも適用可能」というユニークな機能を備えたInformaticaプラットフォームです。現在、世界5,000社を超える企業が、社内だけでなくクラウドやソーシャルネットワーク全般を網羅しながら、デバイスからモバイル、ソーシャルからBig Dataに至るまでの全ての情報資産から最大限の価値を引き出し、活用することに成功しています。インフォマティカに関する詳細は、www.informatica.com/jp をご覧いただくか、インフォマティカ・ジャパン株式会社、03-5229-7211（代）までお問合せください。
Informatica のソーシャルネットワーク：www.facebook.com InformaticaCorporation には、www.linkedin.com/company/informatica および www.twitter.com をご利用下さい。

informatica

Put potential to work.™

〒 162-0845 東京都新宿区市谷本村町 1-1 住友市ヶ谷ビル 13 階 電話：03-5229-7211（代表）FAX:03-5229-7623
www.informatica.com/jp linkedin.com/company/informatica twitter.com/InformaticaCorp

© 2014 Informatica Corporation.All rights reserved.Informatica® および Put potential to work™ は、米国および世界各国における Informatica Corporation の登録商標です。その他すべての企業名および製品名は、各社が所有する商号または商標です。

IN08_0214_02621